

2025 南女子予想問題 訂正

【算数】**1** (5) 問題の変更

$$2 \frac{1}{3} \times \left\{ 2 + \left( 3 \frac{1}{7} - \square \right) \right\} \div 0 \cdot 8 = 8 \longrightarrow 2 \frac{1}{3} \times \left\{ 2 + \left( 3 \frac{1}{7} - \square \right) \div 0 \cdot 8 \right\} = 8$$

【社会】解説（次ページ以降のPDFを参照ください）

**1** 問3 図 問4～5 の欠落

誤 正

**3** 問7 カー平清盛 キー太政大臣 → オー平清盛 カー太政大臣

【理科】問題・解説（次ページ以降のPDFを参照ください）

大問6 通し番号④～⑦の変更

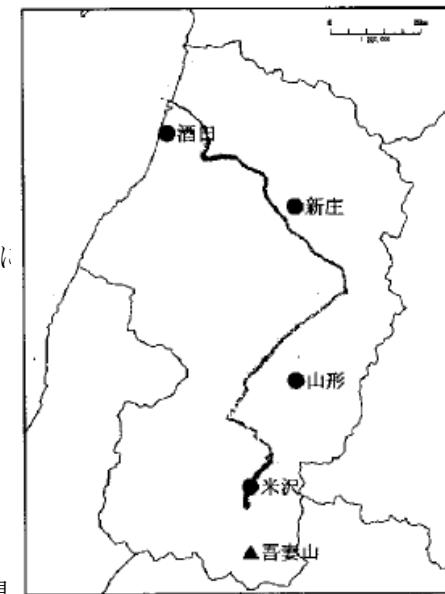
## 2025年 南山女子 社会 予想問題 解答・解説 その1

## 1 地理 世界の紛争・内乱 (10)

問1. ウ 問2. (1) (例) 北海道の気候に合わせて開発された品種だから。 (2) 品種改良 問3. (1) 模範解答  
参照 (2) イ 問4. ウ 問5. エ 問6. 青森県ーア 山形県ーウ

【解説】山形県をテーマとした地理問題。

- 問1. ウが誤りです。日照時間が長い方が米の栽培には適しています。
- 問2. (1) 北海道は夏の気温が低いため、それに適した品種に改良されているため、他の地域では栽培に適していません。この点を記述してあれば正解となります。
- (2) 品種を増やすことを「品種改良」といいます。
- (3) あやまっているのはウです。輸入作物についての検討は行っていません。輸入作物については、農林水産省の植物防疫所で検査を行っています。
- 問3. (1) 右図参照。問題文の前半をよく読みましょう。
- (2) 適当でないのはイです。高野山は和歌山県にあります。球磨川は熊本県です。
- 問4. 正しいものはウです。ア-沖縄県 イ-徳島県 エ-茨城県 の肉牛です。
- 問5. エがあやまりです。当時の日数では約2か月ほどでした。
- 問6. ア-果実の金額より「青森県」 イ-肉用牛の割合が高いことから「宮城県」  
ウ-果実の金額が多いことから「山形県」 エ-米・野菜の割合が高いことから「福島県」  
よって、青森県ーア 山形県ーウ となります。



## 2 地理 フランスをふくむヨーロッパの問題 (8)

問1. イ 問2. ① エ ② キ ③ ウ 問3. ウ 問4. イ 問5. ア 問6. (例) AI技術

【解説】パリ・オリンピックを題材とした地理総合問題。

- 問1. パリのあるフランスは①です。その他は、⑦イギリス ⑦オランダ ⑤ドイツ ⑤ポーランド ⑥スペイン ④イタリア
- 問2. ①自動車製造、ベートーベン・バッハより「エ」のドイツです。②ローマ時代の遺跡より「キ」のイタリアです。  
③干拓地、江戸時代の貿易より「ウ」のオランダです。
- 問3. 適当でないのはウです。EUより離脱したのは「イギリス」です。
- 問4. 正解はイです。ベルサイユ条約で1919年です。ア-1895年 ウ-1929年 エ-1933年
- 問5. 正解はアです。ぶどう酒・バッグ類でわかります。イはたばこ・バッグ類・衣類より「イタリア」、ウは医薬品・自動車より「ドイツ」、エは肉類・チーズより「オランダ」です。
- 問6. 正解例は「AI技術」です。AIの語がふくまれていれば正解です。

## 3 歴史 平安時代に関する問題 (18)

問1. エ 問2. ア-摂政 イ-閑白 問3. 藤原道長 問4. 満月(望月) 問5. ① 紫式部 ② 枕草子  
③ (例) 日本人の細やかな感情を表現できるようになったから。 問6. イ 問7. オ-平清盛 カ-太政大臣  
問8. 源義朝 問9. ① 神戸(大輪田泊) ② 宋 ③ エ ④ 広島県 ⑤ 2番目ーア 3番目ーウ

【解説】平安時代に関する歴史総合問題。

- 問1. 正解はエです。藤原頼通が造営したのは「平等院鳳凰堂」です。入試頻出。
- 問2. 正解は「ア-摂政 イ-閑白」です。これも入試頻出です。
- 問3. 正解は「藤原道長」です。
- 問4. 正解は「満月」です。原文では「望月」となっています。これも正解です。日本以外にもノルウェーやペルーなども行っていました。
- 問5. ① 源氏物語の作者ですから「紫式部」です。  
② 清少納言の代表作である「枕草子」です。  
③ かな文字の登場によって、日本人の季節感や心情を表わすことができるようになりました。
- 解答例以外でも「日本人の感情(季節感)」などの語があれば正解です。
- 問6. 正解はイの「白河天皇」です。ア-平清盛の時代 ウ-鎌倉時代の承久の乱に関係 エ-鎌倉幕府後に親政をした
- 問7. オにあてはまるのは「平清盛」、役職とは「太政大臣」です。

6. 太郎君の家族が月見をしています。今日は中秋の満月です。

太郎「お父さん、スーパームーンという言葉を聞いたけど、スーパームーンて何?」

お父さん「月と地球の距離は一定ではないので、月が地球に近づいた時の大きな満月をスーパームーンというんだよ。①月の直径は一定だけど、見かけの直径は、月が地球に最も近づいたときと最も遠ざかったときでは12%もちがうんだよ。」

花子「月ではウサギさんがおもちをついているって、友達が言ってたよ。」

お母さん「②月の模様がウサギのように見えるから、そう言われているのよね。国によっては、この模様をカニやライオンにたとえているところもあるそうよ。」

太郎「月の模様は三日月や半月の時も同じだけど、何でだろう?」

お父さん「月の自転の周期と③が一致していて、月が地球に常に同じ面を見せていているからだよ。」

太郎「現在、旧暦ってありましたよね。今は旧暦は全く使われていないんでしょう?」

お父さん「いやいや、そうでもないぞ。例えば7月7日の七夕は、旧暦の7月7日にちなんで…今年の場合は8月2日になるが、8月に行う地域もあるよ。七夕を8月に行うことで、沖縄では5月から6月、九州、本州、四国では6月から7月にかけてみられる、④をさけることができるんだ。」

花子「わたし、七夕で、『月に行けますように』ってお願いしたんだ。」

太郎「でも、月には⑤空気もない、⑥温度変化も大きい、しかも、⑦重力が小さくて、物の重さが6分の1になるんだって。とても地球のようには暮らせないよ。でも、ぼくが宇宙飛行士になって、花子を月面基地に連れて行ってあげるからね。」

(1) 月の直径は次のどの距離に近いですか。最も近いものを選びなさい。

ア.鹿児島から博多 (300km) イ.東京からソウル (1000km) ウ.鹿児島からペキン (2000km)

エ.沖縄から稚内 (3000km) オ.東京からニューデリー (6000km)

(2) ②で月が真南にあるときの、月の模様として正しいものはどれですか。



(3) ③にあてはまるものは、次のどれですか。なお、自転とは天体自身が回ることを指し、公転とは他の天体のまわりを回ることを指します。

ア.地球の自転の周期 イ.地球の公転の周期 ウ.月の公転の周期 エ.太陽の自転の周期

(4) 満月の7日前の月、満月から11日後の月の出でのおよその時刻を次から選びなさい。なお、太陽は6時にのぼり、18時にしづむものとします。

ア.0時 イ.3時 ウ.6時 エ.9時 オ.12時 カ.15時 キ.18時 ク.21時

(5) ④に当てはまる、気象現象を答えなさい。

(6) 下線部⑤に関連して、空気のない月では調べることのできない実験はどれですか。すべて選びなさい。

- ア. 電池を直列と並列につないで、豆電球の明るさのい違いを調べる実験
- イ. 物をこすり合わせ、こすり合わす回数と温度の上がり方の関係を調べる実験
- ウ. 木と紙と布で、燃えやすさの違いを調べる実験
- エ. 鉄球と鳥のはねを同じ高さから落として、落ちる速さを調べる実験
- オ. 笛をふいて、距離と音の伝わる時間の関係を調べる実験

(7) 下線部⑥に関連して、地球での昼夜の温度の変化が月に比べて小さいのは、昼夜の時間が違うことに加え、空気がある役割を果たしているからです。空気が果たしている役割を昼と夜に分けて説明しなさい。

(8) 下線部⑦に関連して、月である石の重さをバネばかりで測ると12gを指していました。この石を上皿てんびんを使って測ると何gになりますか。正しいものを次から選びなさい。

- ア. 2g
- イ. 6g
- ウ. 12g
- エ. 36g
- オ. 72g

10g 増すごとに、 $(21+19.5) - 20 \times 2 = 0.5\text{cm}$

増えるので、 $43-40=3\text{ cm}$  増えるのには、 $3 \div 0.5 \times 10 = 60\text{g}$  必要である。 ばねAは10gで1cmのびるので、 $60 \div 10 = 6\text{ cm}$   $20+6=26\text{cm}$

答. 26cm

(9) 棒の重さは両端に均等にかかるので、

$$60 \times 2 = 120\text{g}$$

答. 120g

6.

(1) 地球の直径… 12756.3km 月の直径… 3474.8km なので、約地球の1/4の大きさである。

答. エ

(2) 右画像よりア。

答. ア

(3) 月の公転周期と自転周期が一致しているので、

地球から見ると、いつも同じ面が見える。

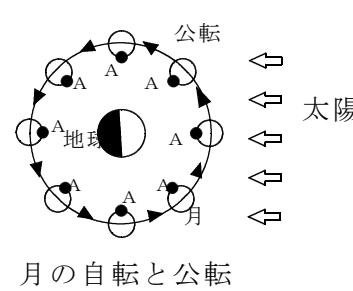
(右図参照)

答. ウ

(4) 約1週間で、新月→上弦→満月→下弦→新月と変化

するので、満月の7日前の月は上弦である。

満月は夕方6時ごろ上り、1日に約50分、月の出  
は遅れるので、11日後の月は、



$$50 \times 11 = 550\text{ 分後} \quad 550 \div 60 = 9\text{ 時間} \cdots 10 \quad \text{約9時間後なので、6時} + 9\text{ 時間} = \text{午前3時}$$

答. (7日前) オ (11日後) イ

(5) 7月7日は本州では梅雨の時期である。梅雨の時期は晴れの日が少ないので、それをさけるために旧暦で七夕を行ったり、時期をずらして行う。

答. 梅雨

(6) ウー空気(酸素)はないので、ものを燃やす実験はできない。

オー音は空気の振動が伝わるので、伝えるものがないと聞こえない。

答. ウ、オ

(7) 気体は固体や液体に比べ保温効果が大きく、昼間は太陽の光は空気を通り抜けるが、散乱させて若干は太陽光を和らげる。空気があると、日光が当たらない夜でもその熱は空気の保温効果で地球外に逃げにくくなる。

答. 昼は太陽光を和らげる。夜は空気が熱を逃がさないように保温している。

(8) バネばかりは石が月に引っ張られる引力を表す力で、12gである。地球ではその力は6倍なので、

$12 \times 6 = 72\text{g}$  となる。上皿天秤で測ると、地球上で 72g のおもりとつり合うので、月でも 72g のおもりとつり合う。

答. オ